

1 経営理念

<p>□ 学校教育目標 確かな学力を持ち、夢や志に向けて能動的に活動する生徒の育成</p> <p>□ めざす学校像</p> <p>○信頼される学校</p> <p>①安心・安全な学校（自他ともに安心して、楽しく生活できる） ②確かな学力を身に付けさせる学校（学力の向上） ③夢をかなえる学校（自己の成長や良さが実感でき、夢と自信が育つ） ④美しい学校（環境、礼節、一生懸命が美しい） ⑤社会に貢献する学校（地域と連携して地域の活性化に貢献できる）</p>
--

2 経営目標・評価指標・評価等

【評定 S：100%，A：100%未満～90%以上，B：90%未満～70%以上，C：70%未満～50%以上，D：50%未満～0%】

	中期経営目標	短期経営目標 (達成目標)	評価指標	評価	成果(○)・課題(▼)等	今後の取組・改善策
確かな学力	○基礎・基本の学力の確実な習得、思考力・判断力・表現力の向上を図る。	○各種学力検査で、国または県の平均を上回る。	○本校が国や県の平均以上	A	○学校平均は県、国の平均を15教科のうち14教科が上回った。 ▼三次市到達度の1年生社会が全国平均を下回った。また、2年生数学は全国平均を上回ったものの市平均に対しては下回った。 ▼全国学テでは、理科。三次市到達度では、社会、数学に活用の課題が見られた。 ▼正答率30%未満の生徒が、全国学テで2名、三次市到達度で4名いる。 ▼三次市到達度の無解答が81問あった。	・放課後などを利用し、個別指導を継続して行い、少人数を活かした細かな指導を継続する。 ・活用力を高める学習活動を取り入れる等、授業改善をおこなう。 ・社会、数学の課題を明らかにし、授業改善を行うとともに30%未満の生徒への個別学習の強化を図る。 ・ドリル学習を日常的に取り入れ、基礎学力の定着を図る。また、活用力を高める問題にも取り組む。 ・無解答を無くする取組を行う。
		○各種検定及びコンクール等、応募の生徒割合を高める。	○生徒全員が英検、漢検、数検のいずれかを受検する。 ○外部主催の各種検定及びコンクール等で、生徒全員が一つ以上受賞する。	B	○英検、漢検、数検のいずれかを受検した生徒は、18/22であった。 ○各種検定及びコンクール等で、一つ以上受賞した生徒は、21/22であった。 ▼入賞者の片寄りが出た。	・今年度、各種検定を受けていない生徒が4名いたので、来年度は、100%受験できるように取り組む。 ・今年度は、各種コンクール等で入賞者の片寄りが出たので、応募できなかった生徒及び入賞の少なかった生徒への取組を進める。
		○基本的学習習慣を定着させる。 ・家庭学習習慣の定着 2時間以上家庭学習を行う。 ・読書習慣の定着 年間15冊以上本を読む。	○生徒全員が2時間以上家庭学習を行い、年間15冊以上本を読んでいる。		C	○昨年度同時期に比べると2時間未満の生徒が減少している。また、7月と比べると、1時間未満の生徒が減っている。 ▼家庭学習をまったくしていないという生徒が1名、1時間未満が2名、2時間未満5名で計8名いる ▼各学年とも自主学習ノートや教科の宿題の未提出者が固定化しており、登校後、学級朝会までの時間帯で宿題をしている生徒も多い。 ○読書については、1月末時点で既に15冊を超えている生徒は14名、4月から30冊以上の本を読んでいる生徒が5名いる。 ▼1月末で読書冊数10冊に達していない生徒が3名いる。
豊かな心	○礼儀や規範意識を身につけ、場に合った行動のできる自律した生徒を育てる。	○当たり前のことが、立派にできる生徒の育成を図る。 ・レベル5の挨拶ができる。 ・校則、時間、掃除、整理整頓等、ルールを守って生活できる。	○生徒全員が、式、朝会、授業、来客への対応等の場で、レベル5の挨拶ができています。 ○生徒全員が、校則と時間を守り、掃除や身の回りの整理整頓ができています。	B	【挨拶】 ○中間評価に比べ、「授業ではレベル5の挨拶ができています」は向上した。 ▼全体的に挨拶については中間評価に比べ下がっている。しかし、地域、保護者からの声では挨拶が良くなったと聞く。このことは、生徒の挨拶に対する意識が高まり「レベル5」を意識した結果と考えられる。 【ルール】 ○校則について常に意識し、ルールを守ることができている。 ▼全体的には、服装や時間の乱れもなく、ルールをよく守って規律ある生活を送っている。しかし、データは中間評価に比べ5%～10%下がった。 【身の周りの整頓】 ○他の項目に比べ整理整頓については評価がBでありやや低い状況である。 ○後期は整理整頓を意識させるため、ロッカー等の定期点検を取り入れた。	【挨拶】 ・引き続き、レベル5の挨拶を意識させた取組を継続する。 ・学校での成果を家庭や地域で活かせる取組を行う。また、家庭での挨拶は、保護者への協力を呼びかけ「自然と「場」に応じた挨拶」ができるようにする。 【ルール】 ・毎年生徒指導規程の見直しを行い、時代に合った校則にするとともに、生徒や保護者が納得した内容にする。 ・本校はノーチャイムであるため、引き続き、教職員が時間の意識をもって行動し、生徒を指導する。 ・2分前には授業準備を終えて、自分の席についておくよう、指導を継続する。 【掃除】 ・全体指導と個別指導を続ける。 ・無言で、時間いっぱい掃除ができるよう掃除リーダーを中心にレベルアップを図る。 ・内容がマンネリ化し、意識付けが弱まったため、途中から職員がミーティングの見本を見せる取組に変更した。 【身の周りの整頓】 ・継続して定期点検を行い、生徒の意識を高める。 ・職員自身も模範となるよう、それぞれの持ち物や担当場所の整理整頓に努めた。
	○自己肯定感を高め、思いやりの心をもった生徒を育てる。	○生徒全員が「自分には良いところがある」「周りから認められている」と感じている。	○生徒全員が、自分のことを肯定的に自己評価し、周りから認められていると感じている。	B	○「周りから認められている」は中間評価と比較して、8%上回った。 ▼「自分に良いところがある」は、中間評価と比べて5.9%下回った。	・現在取り組んでいる「ありがとうカード」を継続し、互いが認め合い、個々の良い部分を把握させるとともに自信をもたせる取組を行う。
健やかな体	○基礎体力を向上させ、活力ある生徒を育てる。	○基本的な生活習慣が身についている。 ・朝ごはんの定着	○生徒全員が、朝食を食べている。 ○栄養士と連携した食育指導を年1回以上実施する。	A	○給食指導、通信等で食の大切さ等呼びかけ、規則正しい食生活を身に付けさせる取組を行った。 ○栄養士と連携した食育指導を実施した。 ▼データは悪くないが、朝食を食べる生徒が100%になっていない。	・今後も継続し、調理場栄養士と連携を取り、食の大切さについての学習や保護者への啓発活動を行う。 ・朝食の取れない生徒の保護者と連携し、全生徒が朝食を食べるよう取り組む。
		○ワンステップタイムを充実させる。	○生徒全員が参加し、体力が向上したと感じている。	C	▼中間評価は、ワンステップタイムへの参加の有無についてのアンケート項目であった。最終評価では、「ワンステップタイムに参加したことによって、体力が向上したと感じている」の内容に変更したため、中間評価に比べ肯定的評価が50%に下がった。肯定的評価は1年生が一番高く、学年が上がるにつれ、低い結果となった。	・引き続き、担当者（進行リーダー）を明確にして、スポーツテストの結果を活用した運動内容や基礎体力を向上させる内容を設定し、継続して取り組む。 ・学年による評価の差が大きいため、学年間を考慮した内容を考えていく。
信頼される学校	○学んでよかったと思える学校をつくる。	○生徒が授業や学校生活に満足している。	○生徒全員が、「授業はわかる」「学校が楽しい」と肯定的に評価している。	A	○中間評価と比較し、「授業はわかる」は3.5%、「学校は楽しい」は8.7%と共に肯定的評価が上回った。 ▼否定的評価に回答した個々の生徒への取組が十分にできていない。	・授業の評価は向上しているが、わかる授業からできる授業に取り組む。 ・学級づくりをはじめ、生徒同士の相互作用から学びを深める授業づくりに取り組む。 ・授業振り返りをもとに、授業改善を図る。 ・「授業はわかる」と「学校は楽しい」の項目が共に肯定的評価が100%になるよう取組を進める。 ・生徒一人一人の場所をつくり、学校生活への充実感を持たせる。
		○保護者が本校教育に満足している。 ・安心と満足	○保護者全員が、「安心」して学校に通わせており、教育活動に「満足」していると肯定的に評価している。	B	○「安心して子どもを……」の項目では、中間評価に比べ、肯定的評価が4.1%増となった。また、「教育に満足している」の項目では、13.1%増となった。 ○昨年度の最終評価に比べ、「教育に満足している」の項目では、肯定的評価が20.8%増となった。 ▼昨年度の最終評価に比べ、「安心して通わせている」の項目では、肯定的評価が2.5%減となった。 ▼学校が発信する通信やHPは、学校や生徒のことがわかる内容になっている」の項目では、約16%否定的評価がある。	・生徒、保護者の要望をしっかり聞き、生徒、保護者に寄り添った教育を行う。 ・職員自身が、生徒・保護者へのコミュニケーション能力を高める。 ・日々の学習指導を綿密に行い、基礎学力の定着と進路実現への取組を強化する。 ・各種通信やHP等の内容を工夫し、保護者に学校の状況がより多く伝わるように工夫する。